

SCE・Net 5年目を迎えて

1月に70歳を迎えてしまった。私の認識では“古稀”とは“老人領域”であり、自分には縁遠いものと思っていた。それが、いつの間にか、自分が、その“老人領域”に入ってしまった。当然、抗う術もないのだが、気分は、“古稀の祝い”を素直に喜べない。しかし、禿げ上がった自分の頭を見れば、確かに見掛けは老人だ。体力的には、確かに衰えは否めない。しかし、記憶力、集中力はそれほど落ちていない(と自分では思っている)。

65歳で、SCE・Net会員となった。研究会では、自分でテーマを設定して、Webを通じて、文献&資料の調査、整理をおこない、研究会内でプレゼンし、メンバーからコメントを仰ぎ、成程、そういう視点もあるか、と学ばせて貰っている。知的好奇心を満足させながらも、「いつか、何か有用な開発テーマの提言ができれば良いな」と考えている。お陰様で、「有意義な老後」と思っている。

また、これは趣味とも言えるが、自宅で「モックアップ装置製作」をやって、自己満足している。これはやってみると、在職時代より難しい。在職時代は、「こういうものを造ってくれ」と指示すれば良かった。しかし、自宅には作業スペース、作業台もなければ、持っている工具、部品は少ない。図面を描けても、製作するのは自分自身である。ホームセンターや通販で入手できる材料、パーツ、そして手持ちの工具だけで、如何にして所望の装置を製作するか？ 在職時代よりも遥かに多くの工夫や知恵、そして“器用さ”が必要なのである。しかし、時間は十分にある。考え始めると、就寝後も、夢の中で工夫している。ボケてなどいられない。

勿論、失敗もある。しかし、失敗は成功する為の有用な経験となる。製作した装置が目論見通りに動くと、完成した喜び、満足感を得られる。あわよくば、特許申請できるかもしれない。「学問のすすめ」ならぬ、「モックアップ製作のすすめ」となった。お後がよろしいようで！

(SCE・Net 教育グループ 紫垣由城)